

玖波地域交流施設基本構想・基本計画

【概要版】

1. 計画策定の趣旨

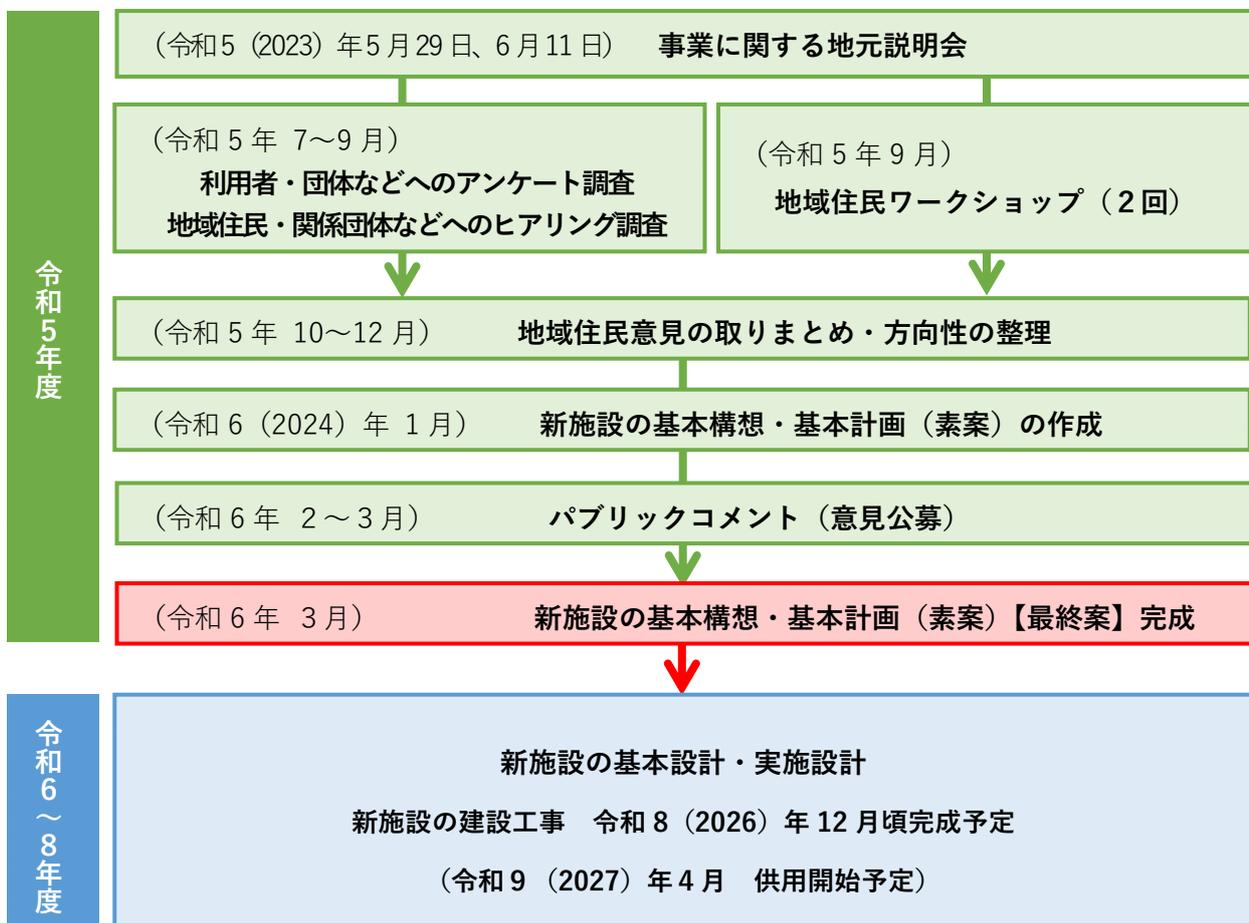
大竹市では、公共施設の長寿命化だけでなく、類似施設の廃止や統合などの「公共施設の再編」を進めながら、効率的な施設運営を行うための「大竹市公共施設等総合管理計画」を平成 29（2017）年 3 月に策定しました。

玖波公民館は、建設から約 50 年が経過し、建物の老朽化や耐震不足、バリアフリー非対応など多くの課題を抱え、早急な建て替えが求められていたことから、大竹市公共施設等総合管理計画の方針を踏まえつつ、利用者の安全の確保と、時代に対応した地域づくりの拠点となるような魅力的な施設として整備するため、玖波地域にあるコミュニティサロン玖波の機能を移転・統合し、新たに「地域交流施設」としてリニューアルする方針を示した「玖波地域交流施設基本構想・基本計画」（以下「本計画」といいます。）を策定することとしました。

この地域交流施設は、玖波公民館が従来行ってきた事業などを継続しつつ、法律の制約のない、より自由で柔軟な利活用ができる施設にすることを目指しています。

2. 検討の流れ

施設の方向性、現施設を取り巻く状況・課題、利用者や地域住民の意向などを踏まえ、施設のあり方や整備の方向性を整理した上で、必要な施設の機能やスペース、配置などをまとめました。



3. 施設のあり方を考える上での視点、将来像・方向性（基本方針）



■施設のあり方を考える上での視点

【施設の方向性】	<ul style="list-style-type: none"> ● 同エリアに類似機能を備える施設があることから、集約・効率化を図る。 ● 地域でのこれまでのイベントや学び・学習、文化・歴史の継承などの活動・取組が継続的に行えるとともに、更なる利用向上が期待できる施設とする。 ● 市内外問わず、多世代が交流できる施設とする。 ● 子どもの見守りや若者世代・高齢者の利用など、日常的に利用しやすい環境を整備する。 ● 駐車場や周辺の公園施設などを含む屋外空間の利活用を視野に入れた整備を検討する。 ● 津波・高潮ハザードエリアに立地することから、安全性に配慮し防災機能を備えた施設とする。
【施設の機能】	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の方向性を踏まえながら、各施設のこれまでの機能を確保しつつ拡充する。 ● 住民同士のふれあいや地域内外の交流、会合、行事など多様なイベントが実施できる機能を備える。 ● カフェや地域の特産品などの販売・購入などができるスペースなどを検討する。 (例：多目的ホール（ステージを含む）、会議室、フリースペース（学習・図書室スペース、子育て機能などを含む）、カフェ・売店、展示スペース、調理室、和室など)
【施設の設備】	<ul style="list-style-type: none"> ● バリアフリー、ユニバーサルデザインをはじめ、多様な人々が利用できるような設備を備える。 (例：エレベーター、展示ブロック、音声案内、防災対応、断熱性、省エネなど)
【施設の立地】	<ul style="list-style-type: none"> ● 津波・高潮ハザードエリアに立地することから、防災機能を備えた施設とする。
【消防屯所・水防倉庫】	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域交流施設の面積の確保や、消防屯所の必要機能の確保などの観点から、合築を前提とせず、施設単体で利用できるよう工夫する。

上記の視点を踏まえ



■施設のコンセプト

多世代が気軽に集い 誰とでも楽しく交流できる地域の“元気拠点”

子どもからお年寄りまで気軽に利用できる施設

市内外の人々の交流が生まれる施設

これまで行われてきた取組・活動を継続でき、さらなる発展が期待できる施設

持続可能で効率的な維持管理が期待できる施設

今後の人口推移や公共施設の総量抑制の方針を踏まえた規模の施設

災害時などの防災機能を備え、安心・安全な暮らしの向上につながる施設

4. 導入する機能と面積

現在	面積(㎡)
■建物	
玖波公民館	
大ホール	390.00
図書室	27.95
老人集会室 (和室)	42.00
第1研修室	56.00
第2研修室	56.00
調理実習室	56.00
事務室(支所兼用)	67.4
その他	543.88
延床面積	1239.23
コミュニティサロン	354.71
延床面積計	1593.94

導入機能		面積(㎡)
地域交流施設		
大ホール (多目的ホール)	利用実態及び広域利用を踏まえた規模とし(大規模災害時に受入が必要となった場合も想定)、スポーツ利用とイベント利用に対応できる機能・設備を想定。	400 程度
ロビー兼 フリースペース	交流コーナー(お茶が飲める場所)、展示コーナー、図書コーナー、キッズスペースを内包できる広さ・構造を想定。	210 程度
和室	鏡のある畳の部屋として、イベント時の控室や、キッズルームとしての使用も想定。	25 程度
会議室 (学習室)	現状の利用状況を踏まえ、パーティションなどで部屋を区切って活用できることを想定。	120 程度
調理実習室	現状の規模を踏襲しつつ、災害時の炊き出しにも対応できる規模・機能も想定。	60 程度
事務室 (支所兼用)	現在と概ね同規模を想定。	65 程度
その他	ゾーニングなどを踏まえて詳細を検討する。	450 程度
※施設機能を統合		
		延床面積
		1,330 程度

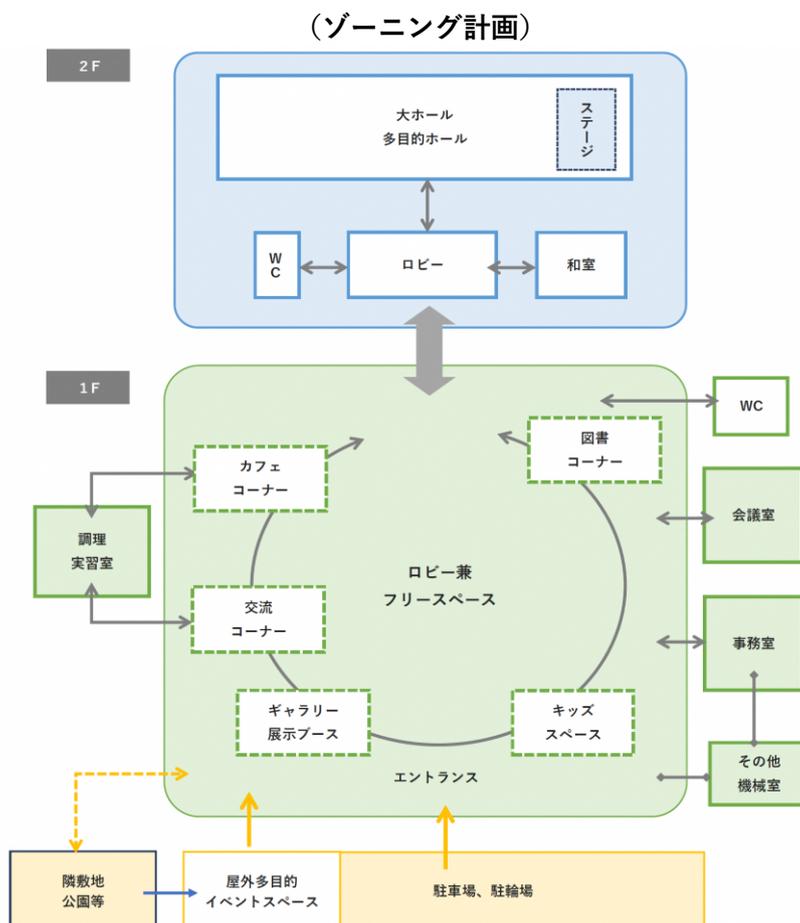
(玖波消防屯所・水防倉庫について)

消防団の活動に必要な機能・面積の確保や施設管理のしやすさを確保しつつ、地域交流施設に必要な機能・面積を確保する観点から、敷地外に移転新築します。

5. ゾーニング計画

(考え方(抜粋))

1. 施設の中心にロビー兼フリースペースを配置し、利用者が各諸室にアプローチしやすい動線を確保する。
2. ロビー兼フリースペースにある各諸室は可動式のパーティションなどで空間を分けるなど、利用の用途に応じてフレキシブルに対応できるようにする。
3. 大ホール(多目的ホール)を2階に配置し、ステージイベントなどの際に出演者の控室にも活用できる和室を整備する。
4. 大規模なイベント開催などの際に機材などを搬入のしやすい機能配置とする。
5. 事務室は入退館者の管理を行うため、エントランスなどに面した部分に配置する。
6. 災害時における避難場所としての活用を想定する。



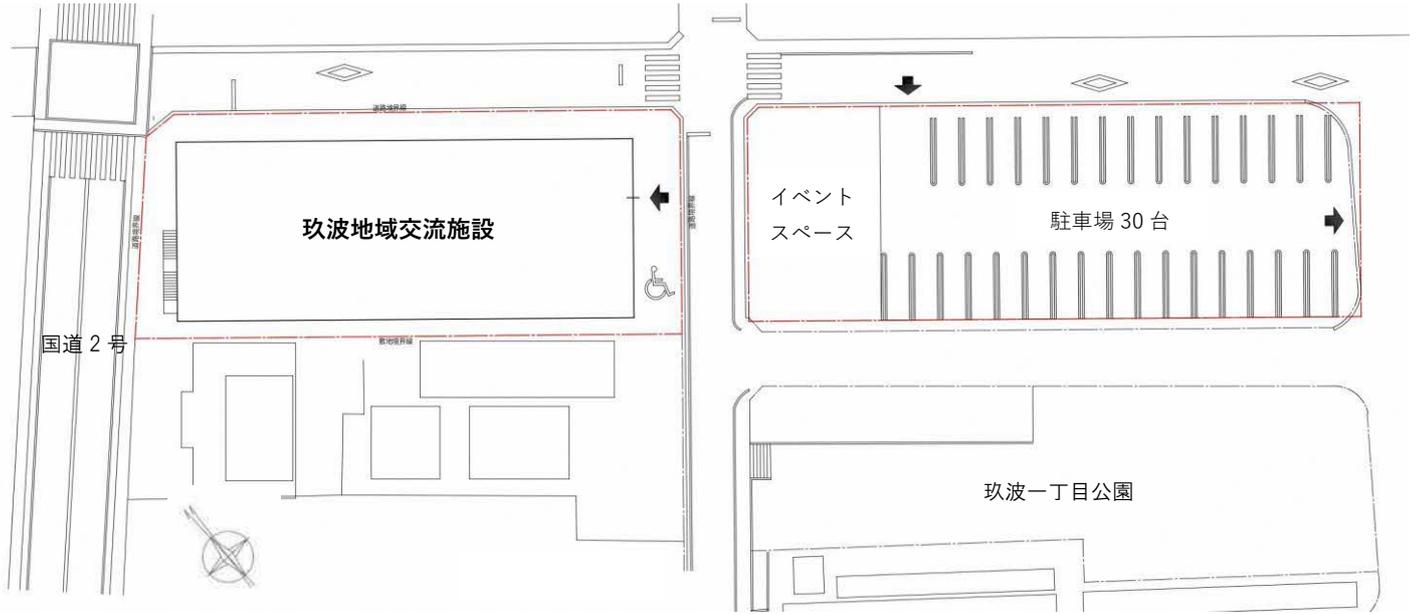
6. 配置計画及び平面図

●記載している配置図等は現時点でのイメージになります。

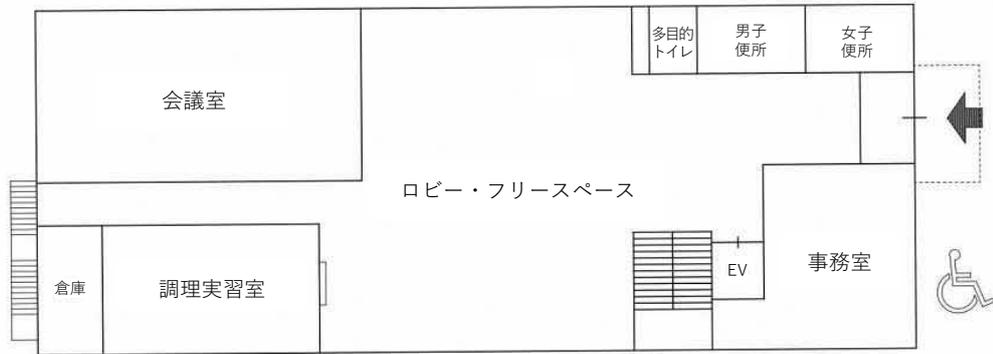
※イベントスペースを設ける場合を想定して記載。

※駐車場は国土交通省の駐車場設計・施工指針を基に 2.5m×6m で設定。

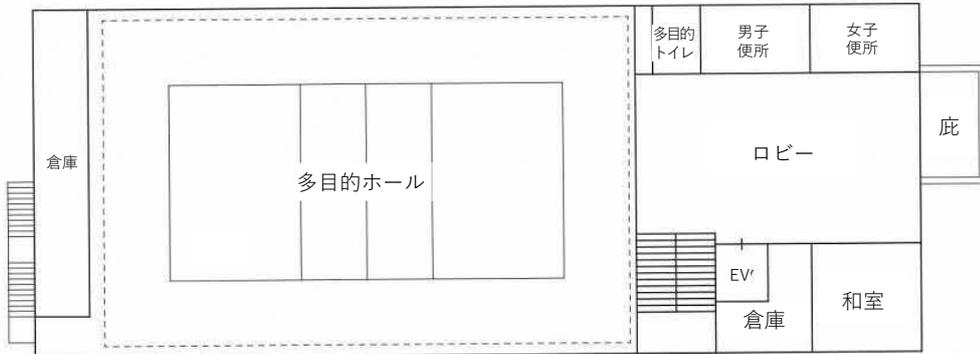
■配置図



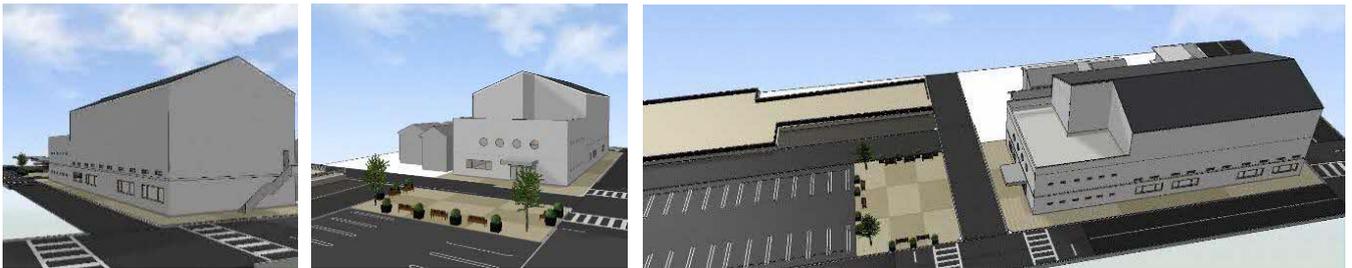
■1階平面図



■2階平面図



■外観パース ※現時点でのイメージになります。



玖波地域交流施設基本構想・基本計画 概要版

令和6(2024)年3月 発行・編集：大竹市教育委員会事務局生涯学習課

TEL：0827-53-6677

FAX：0827-54-2121